

第5次小郡市総合振興計画策定に係る

市民アンケート調査結果報告

皆さんよりご回答いただいたアンケートの結果を報告します。

第5次小郡市総合振興計画の策定にあたり、市民皆様のご意見やご要望を把握するため、昨年10月に18歳以上の市民2,000人を対象にアンケート調査を実施しました。1,023票の回答(回収率51.2%)から分かる皆さんのまちづくりに対する思いについて、その概要をご紹介します。

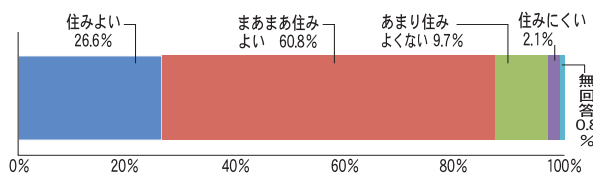
調査の結果

住みやすさと定住意向

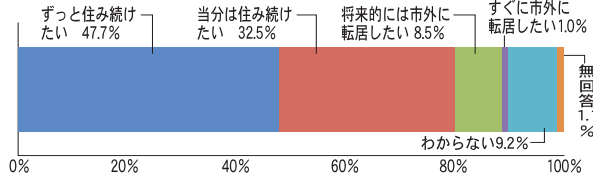
『住みよい』……………87.4%
『住み続けたい』………80.2%

小郡市の「住みやすさ」に関する質問に対しては、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた87.4%の人が「住みよい」と回答しています。一方、「あまり住みよくない」「住みにくい」と回答した人は、11.8%となっています。

■ 住みやすさ

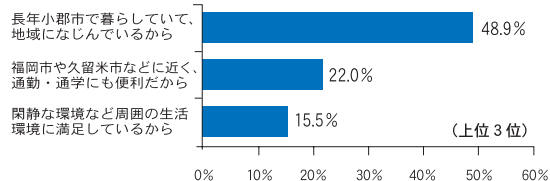


■ 定住意向

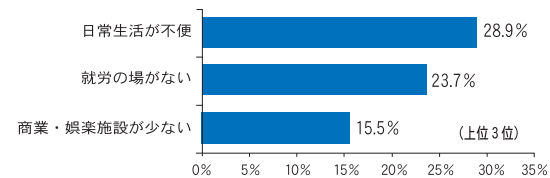


今後の定住意向については、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた80.2%の人が「住み続けたい」と回答しています。一方で、将来的には市外に転居したい、「すぐに市外に転居したい」と回答した人は、9.5%となっています。

■ 小郡市に住み続けたい理由



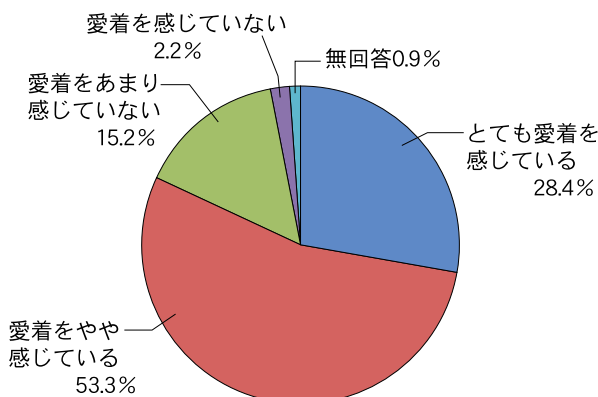
■ 小郡市から転居したい理由



住み続けたいと答えた理由
『長年小郡市で暮らしていて、地域になじんでいるから』: 48.9%
転居したいと答えた理由
『日常生活が不便』: 28.9%
小郡市に「住み続けたい」「転居したい」理由の上位3つは左のグラフのようになっています。

「自分のまち」としての愛着

『愛着を感じている』: 81.7%

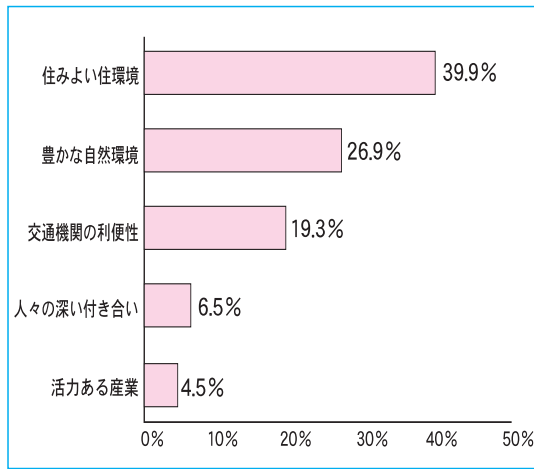


小郡市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか、という質問に対しては、「とても愛着を感じている」「愛着をやや感じている」と回答した人は、81.7%に上りました。一方で、「愛着をあまり感じていない」「愛着を感じていない」と回答した人は、17.4%でした。

大切にしていきたい小郡市のよさ

『住みよい住環境』…39.9%

最も大切にしていきたい小郡市のよさに関する質問では、「住みよい住環境」、「豊かな自然環境」、「交通機関の利便性」が回答の上位を占めています。



小郡市で一番自慢できるもの

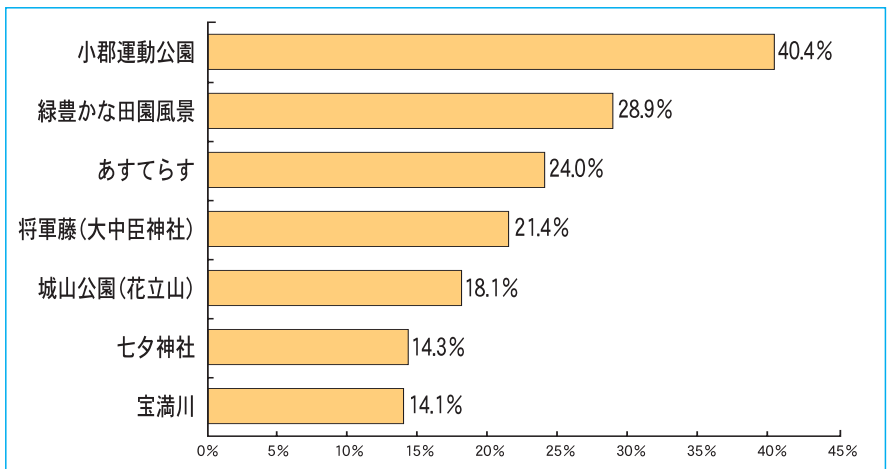
『小郡運動公園』…40.4%

皆さんが、小郡市で一番自慢できると思う上位7項目は、グラフのようになっています。10年前の調査と比較すると、1位と2位は同じですが、3位には平成16年にできた「あすてらす」が新たに上位に入り、「あすてらす」が小郡市の自慢できる施設として皆さんに認識されてきたことが分かります。

整備が遅れている、不足していると思う公共施設

『街灯』…32.0%

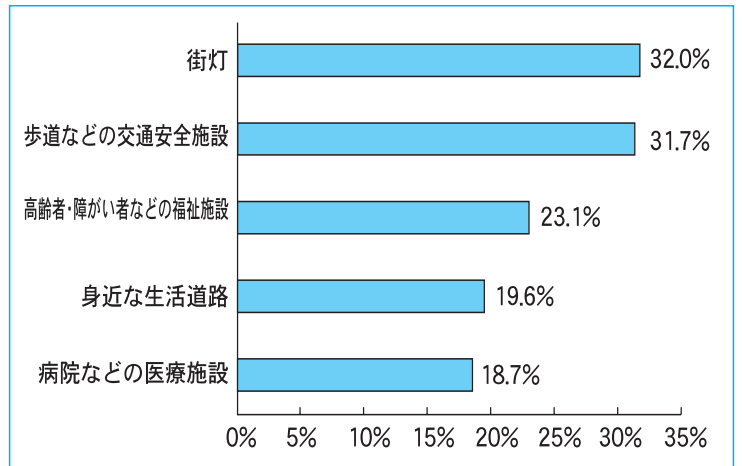
市内の公共施設で、整備が遅れている、不足していると思う施設について、質問では、「街灯」32.0%、「歩道などの交通安全施設」31.7%、「高齢者障がい者などの福祉施設」23.1%が上位を占めています。



どういう特色のあるまちへ

『人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち』…54.8%

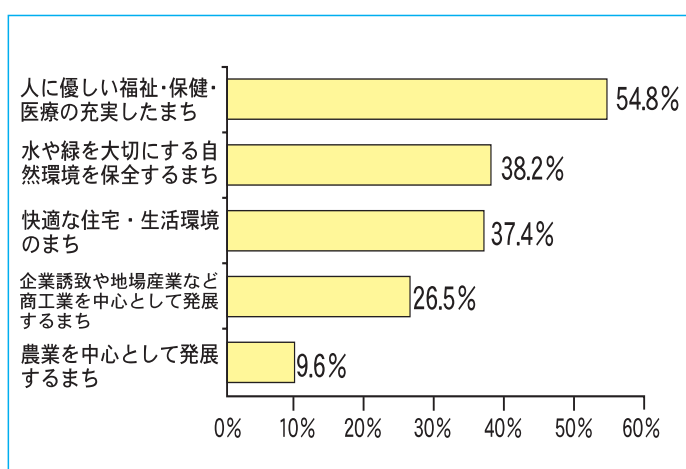
今後のまちづくりについて、小郡市をどういった特色のあるまちにすべきかという質問に対しては、人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち、「水や緑を大切に自然環境を保全するまち」、「快適な住宅・生活環境のまち」が上位となっています。



参加・協力したい活動

『特に参加していない』…27.5%

現在及び将来、市内や地域でどのような活動に参加し、協力したいかという質問に対しては、「特に参加しない(参加したくない)」27.5%、「コミュニティ活動自治会や地域活動など」22.5%、「環境美化運動」19.6%が上位を占めています。

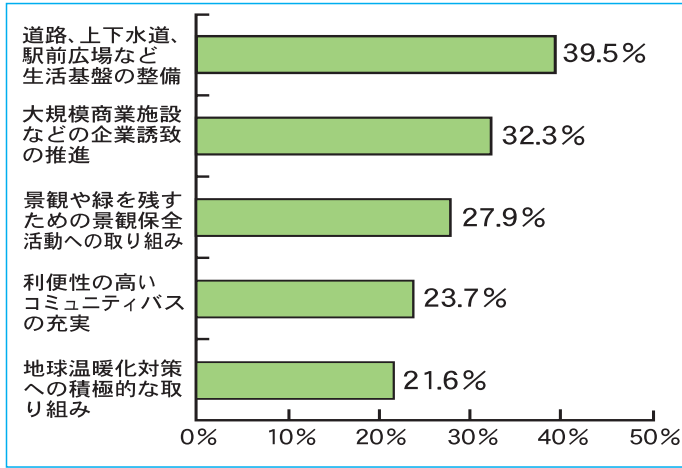


今後取り組むべき施策

市が今後取り組むべき施策①
③についての質問では、次のような結果が出ています。

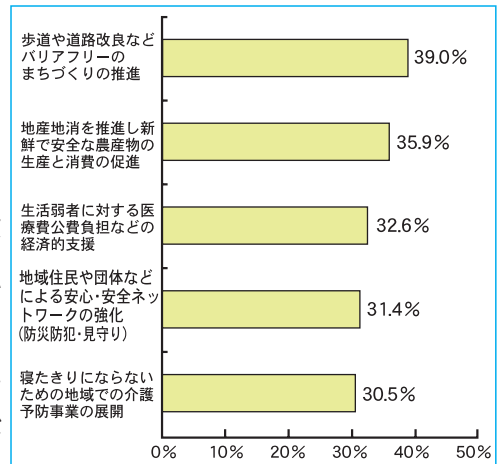
活力に満ちた魅力ある地域社会の実現のために取り組むべき施策

『道路、上下水道、駅前広場など生活基盤の整備』…39.5%



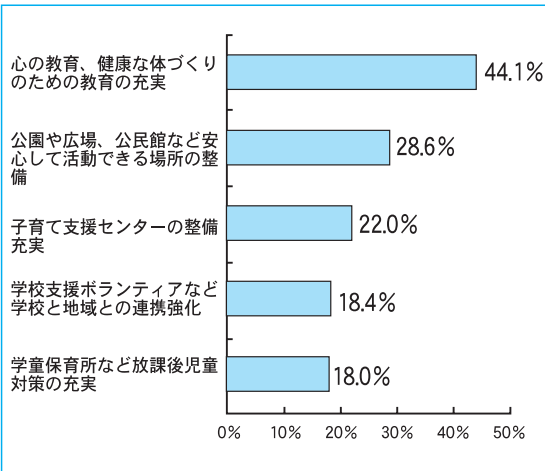
健康で生命や財産が守られる安心・安全のまちづくりのために取り組むべき施策

『歩道や道路改良などバリアフリーのまちづくりの推進』…39.0%



子どもたちの健やかな育成並びに子どもと大人が共に成長していける地域社会の実現のために取り組むべき施策

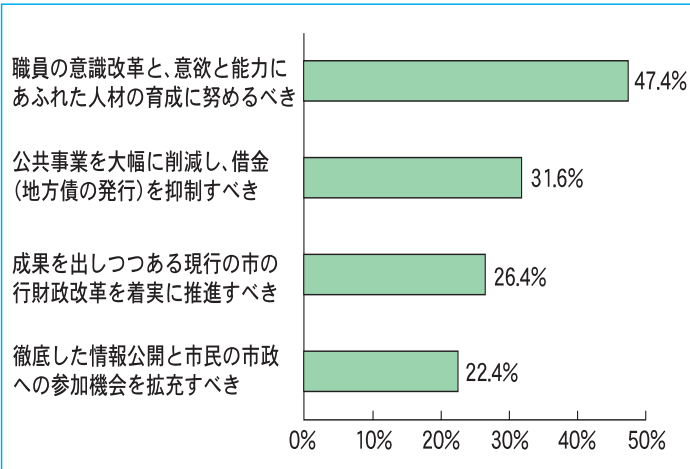
『心の教育、健康な体づくりのための教育の充実』…44.1%



行財政運営について

『職員の意識改革と、意欲と能力にあふれた人材の育成に努めるべき』…47.4%

財政状況が厳しい中、小郡市が自立した行財政運営を進めていくため、どう対処すべきかという質問に対しては、「職員の意識改革と人材育成」が最も多く、次いで「公共事業を大幅に削減し、借金を抑制すべき」、成果を出しつつある現行の市の行財政改革を着実に推進すべきという順になっています。



以上が、市民アンケートの結果報告です。

調査にご回答いただきました市民の皆さん、ご協力ありがとうございました。

今回ご紹介したアンケート結果や、小学5年生・中学2年生を対象にしたアンケート結果は、第5次小郡市総合振興計画策定のための各種会議に提示し、計画策定のための資料として活用いたします。

また、今回ご紹介できなかったアンケートの詳細については、準備ができ次第、市ホームページで公開いたしますので、ご覧ください。

このアンケート結果を踏まえ、新しい計画づくりを行ってまいりますので、引き続き市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

企画課企画政策係

☎72・2111(内線224)

Eメール kikaku@city.ogori.lg.jp